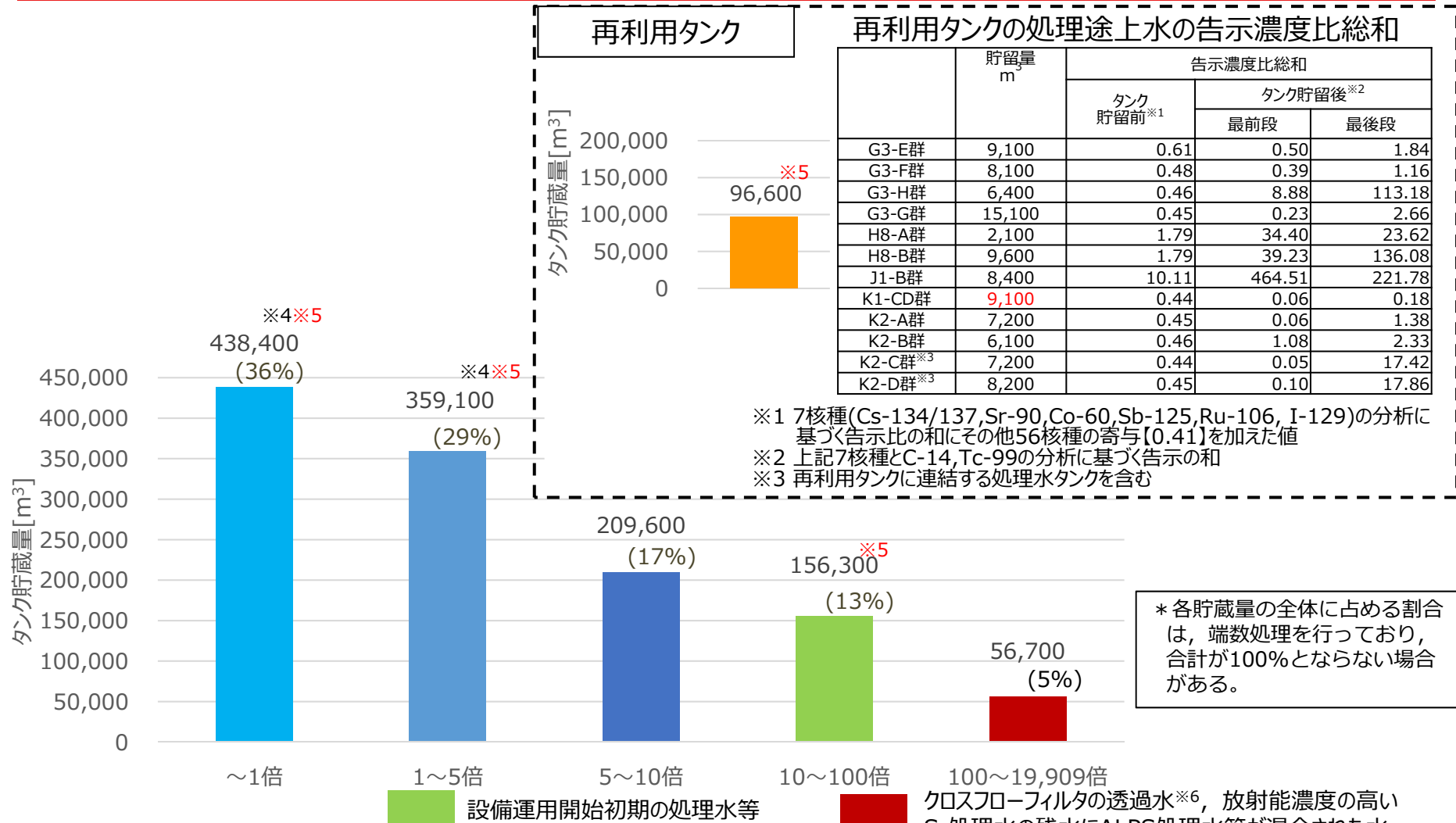


ALPS処理水等の告示濃度比(推定値)毎の貯蔵量 (2024年3月末時点)



- ※4 放射能濃度の実測完了後、追加で受入れた(2018年10月～)ALPS処理水等を含む。なお、受入れ量は少ないため当該タンク群における62核種の告示比総和(推定)は実測結果からの算出した値と同じとしている。
- ※5 ALPS処理水受入のため、～1倍: 12,700m³増加, 10～100倍: 8,600m³増加。淡水生成および処理途上水を貯留しているタンクの空き容量への移送に伴い, 1～5倍: 8,700m³減少。ALPS処理水放出のため, 再利用: 2,200m³減少。
- ※6 2013年度に発生した既設ALPSのクロスフローフィルタの不具合により炭酸塩沈殿処理のスラリーが設備出口に透過した事象。